

おマメで

発行
社会福祉法人飯田市社会福祉協議会
〒395-0024 飯田市東栄町3108-1
TEL : 0265-53-3040
FAX : 0265-53-3186
H P : <http://www.iidashakyo.or.jp/>
facebookもご覧ください 
印刷 : 龍共印刷株式会社



牧原 博子さん（知久町在住）

ボランティアさんによる手作りマスク

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、春先頃は国内各地で使い捨ての不織布マスクが品切れ状態となり手に入らず、多くの市民の皆様は不安な日々を過ごされたと思います。また、厚生労働省による「新しい生活様式」の中にも、感染防止の基本としてマスクの着用が示されています。

そこで、飯田市ボランティアセンターでは必要な方にマスクが届くよう、市内在住の個人登録ボランティアさんや有志の方に呼びかけをさせていただき、5月より「手作りマスク作成ボランティア活動」を開始しました。この活動に対して多くのボランティアさんにご賛同いただき、6月末の時点で22名の方より約500枚の手作りマスクを作成していただきました。また、マスクの材料となる布についても、多くの市民の皆様や企業様よりご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。いただいた手作りマスクは、福祉関係の施設や団体、市内の学校等に使っていただいています。

高校生の下島遼亮さんは、お母様からこの活動の情報を得てマスク作りに協力してくれました。「慣れないのでとても難しかったです。が、母や祖母の力を借りて完成し

～ 105号のおもな内容 ～

- 1面 スマイルさん
- 2・3面 令和元年度事業決算報告
- 4面 ちょっといいお話
- 5面 作業療法士さんのコーナー
- 6面 おマメで“ショート”劇場
- 7面 掲示板・おマメでクイズ
- 8面 おマメの部屋



下島 遼亮さん（上郷黒田在住）

ました。自分一人ではできないことでも、誰かと協力すれば成し遂げられるということを学びました。」と話されました。知久町在住の牧原博子さんは、「明るい色の布をもらってきたので、このマスクを着けて明るい気持ちになつてくれれば。」とおっしゃいました。

飯田市ボランティアセンターでは、ボランティアに関するご相談を幅広く受け付けています。ボランティアを思い立った方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。
(0265-53-3182)

令和元年度 社会福祉法人飯田市社会福祉協議会 事業報告 (概要)

令和元年度においては、住民の皆様や関係機関のご協力のもと、地域福祉の向上と介護サービスの充実を図ることができました。

地域福祉活動部門	実 施 内 容
地域支え合い活動推進事業	・地域福祉コーディネーターによる、地域における見守り支え合い活動（住民支え合いマップ・ふれあいサロン等）の取り組み支援を支援しました。 ・地域支え合い活動に対する経費の助成（市内20地区で計54事業）、地域福祉活動についての学習会（市内20地区で全48回）を実施しました。 ・地域福祉についての理解を深める目的で、地域福祉活動推進研修会を実施しました。（11/16県文化センターにて、来場者数156名）
福祉のまちづくり支援事業	・地域福祉課題解決に向けた住民間での連携による各地区独自の活動への助成を行いました。（市内4地区）
長寿社会事業	・88歳・100歳・長寿上位3名の敬老祝賀訪問を実施しました。（対象者数817名） ・家庭介護者交流事業（在宅介護者の慰労）実施地区への助成を行いました。（市内16地区で全27回実施） ・わたの実会（認知症の人と家族の会）への支援を行いました。（事務局）
福祉有償移送サービス事業	・地域のボランティアの方が運転手となり、福祉車両等を使用して高齢者や障がい者への移動支援を行いました。（市内10地区にて実施、のべ利用者数2,194名、のべ利用回数3,963回） ・実施地区にて運転協力者の募集・育成を行いました。（運転者講習会修了者14名）
配食サービス事業	・食事の用意が難しい高齢者の方が、自宅での食生活を維持していけるよう、安否確認を兼ねた定期的なお弁当の配達を、地域のボランティアの方のご協力により実施しました。（のべ配食数7,704食）
地域介護予防活動推進事業	・地域住民が主体となって行う介護予防教室（通所型サービスB事業）の立ち上げと運営支援（市内10地区14会場で実施）、また運営に携わる介護予防サポーターを養成しました。（受講修了者数16名）
総合相談事業	・日常生活における心配ごとや困りごとの相談対応を行いました。（相談の件数：一般心配ごと相談111件、特別心配ごと相談190件、法律相談92件）
結婚相談事業	・年間を通じて各地区の結婚相談員と連携した相談支援を行い、婚活パーティー・セミナー・お見合い等を実施し、多くの皆様にご参加いただきました。お見合い実施の促進を目的とした地区への助成金を創設し、お見合いでのカップル成立数が5組増となりました。（カップル成立数88組、結婚成立者数13名）
善意銀行事業	・寄付金品の受け入れを行い、地域福祉事業等へ活用させていただきました。
資金貸付事業	・低所得者の自立促進を目的とした貸付を行いました。（貸付件数50件）
福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	・判断能力が十分でない方への、福祉サービス利用や日常的な金銭管理の支援を行いました。（相談援助件数16,458件）
ファミリーサポートセンター事業	・子育て支援や高齢者の生活支援を求める声に応じて、協力会員さんによる依頼会員さんへの支援をコーディネートしました。 ・生活支援では、福祉有償移送サービス事業と連携した支援や遠山地域での事業推進等の新たな展開を図ることができました。（協力会員活動回数：子育て支援352回、生活支援954回）
ボランティアセンター活動事業	・ボランティアコーディネーターによる活動紹介や支援を行いました。 ・福祉教育（福祉教育活動事業、出前福祉講座、サマーチャレンジボランティア、高校生ボランティアワークキャンプ事業、学生ボランティア活動等）の推進を行いました。 ・ボランティアはじめて講座（参加者5名）、傾聴ボランティア養成講座（参加者18名）を開催し、今後のボランティア活動への参加につながることができました。 ・災害支援事業として、ベルマーク収集による支援活動（合計159,033.65点）、災害救援ボランティアコーディネーター養成講座（参加者15名）を実施しました。 ・台風被害への支援として、千葉県館山市及び長野県北部地域への職員派遣（延べ58名）や長野市への災害ボランティアバスパック（全2回実施、計24名参加）を企画しました。
障がい者支援事業	・障がい者の社会参加促進（趣味教室：45名参加、文化芸術作品展：114作品出展）と、障がい者の活動体験（パン作り教室：13名参加）を行いました。
赤い羽根共同募金事業	・多くの皆様の温かいご協力によりご寄付いただいた募金を、高齢者、障がい者、児童・青少年、地域やボランティア団体への福祉活動に配分させていただきました。（目標額14,200,000円、募金額14,200,662円）
飯田市生活就労支援センター部門	実 施 内 容
生活就労支援センター事業	・生活困窮者自立支援法に基づき、生活や就労・経済的な困りごとに対して、社会資源や地域の情報を共有しながら、関連機関と連携した相談支援を行いました。（相談者総数1,848名、相談の件数8,352件） ・関連機関で地域資源を有効に使うための情報共有を目的に、「まいさぼ飯田ネットワーク会議」を開催しました。（参加者数148名）

『ご縁結び in 南信州いいだ』

<11月9・10日（土・日）飯田下伊那地域にて実施>

飯田市外在住女性の移住・定住の促進を目的とした1泊2日の婚活イベントを開催し、市内在住の男性16名と、飯田市周辺地域や都市圏の女性9名にご参加いただきました。男女で市内の和菓子屋や名所を巡ったり、森林の中での体験プログラムや昼食作りをしたりと、自然豊かな南信州の良さを体験していただきました。6組のカップルが誕生し、それぞれの男女が今後の幸せに向けて、第一歩を踏み出されました。



『台風19号に伴う災害ボランティアバスパック』

<11月22日・29日（金）長野市にて実施>

当社協では、台風19号による千曲川氾濫の被害を受けた長野市への災害ボランティアバスパックを2日間企画し、災害救援ボランティア養成講座修了者の皆様を含む合計24名の市民の方に参加していただくことができました。主には、泥のかき出しや被災家具の運搬・屋内の清掃等を行い、復興に向けた支援をさせていただきました。



いいだ成年後見支援センター部門	実 施 内 容
成年後見支援センター事業	・研修会や出前講座等を通した成年後見制度の普及・啓発を行いました。(研修会参加者数のべ130名、出前講座4回実施) ・関係機関と連携した個別相談支援と法人後見業務を行いました。(相談対応件数1,352件、法人後見受任数25件)
地域包括支援センター部門	実 施 内 容
地域包括支援センター事業 (いいだ・いがら・かわじ・南信濃)	・高齢者の総合相談窓口として様々な相談対応を行いました。(初回相談件数1,524件、継続相談件数1,397件) ・また、市内13地区に出向いて、「出張おマメで相談室」を開催しました。 ・「介護予防・日常生活総合事業」の認定業務、おマメで体操、研修会など介護予防の普及に取り組みました。 ・地域ケア会議や医療・介護連携など、様々な機関や職種と共同で取り組み、地域包括ケアシステムの構築を目指しました。 ・権利擁護事業として、高齢者虐待案件対応や消費者被害防止啓発活動に取り組みました。 ・認知症対応として関連機関と連携するとともに、サポーター養成講座や研修会などを開催しました。
介護保険部門	実 施 内 容
居宅介護支援事業 (ケアマネジャー)	・ご利用者様が適切なサービスを受けられるよう、地域包括支援センターやいいだ成年後見支援センター、まいさば飯田等とも連携し、ご自宅で望む生活が送れるようなケアプランの作成に努めました。 ・切れ目なく適切できめ細かい支援が行えるよう、24時間対応体制の整備や関係機関・病院・各事業所との連携に努めました。
訪問入浴サービス事業	・ご利用者様・ご家族に寄り添い、関係機関と連携しながら安心・安全なサービスに努めました。 ・ご利用者様の残存機能を生かした個別の方法で入浴介助を行い、季節を感じるイベントを計画するなど、ご利用者様の笑顔を引き出せる工夫を行いました。 ・在宅での看取りを希望されるご利用者様の受け入れも行いました。
訪問介護事業 (ヘルパー)	・ケアプランに沿った自立支援・重度化防止に資するサービス提供を行い、在宅生活が継続できるようご利用者様のニーズに合わせて支援を行いました。 ・事業所を集約して業務の効率化を図ることで、よりよいサービス提供が行える体制を目指しました。 ・障害福祉サービスや飯田市の委託事業・保険外事業にも対応しました。
通所介護事業 (デイサービス)	・ご利用者様に添った個別ケアができるよう、ご家族との連絡やケアマネジャーとの連携を密に図りました。 ・自立支援・重度化防止の取り組みとして、身体・生活機能、認知症予防のプログラム等を実施しました。 ・専門職間にてサービス内容やヒヤリハットの情報共有を行い、サービス提供の質の向上につなげました。
介護老人福祉施設事業 (飯田荘・第二飯田荘・遠山荘)	・ご利用者様が、自分らしく生き生きと生活できるよう、個別ケアを重視し、心地よく過ごせるよう全職員で取り組みました。 ・介護事故や感染症を予防し、「生活の場」として安全・安心でサービス提供に努めました。 ・職員研修への積極的な参加により、サービスの質の向上に取り組みしました。 ・地域の皆様への配食サービス提供 (飯田荘・遠山荘)、ボランティアの受け入れ、フェイスブックでの情報発信 (遠山荘) 等を通して、地域に開かれた施設を目指しました。



善意銀行 ～あなたと福祉をつなぐ窓口銀行～

尊い善意に基づいて提供して下さる「金銭」「物品」を、支援を必要とする方々のために活用させていただいています。
あたたかなご厚意に感謝いたします

令和元年11月1日～令和2年3月31日の間にお寄せいただきました善意をご紹介します (順不同・敬称略)。

預 託 者 名	預託内容／金額
飯田市倫理法人会	地域福祉のために 30,000円
飯田信用金庫職員会青年部	地域福祉のために 22,725円
金光教信徒会	地域福祉のために 15,810円
片桐 栄司	地域福祉のために 30,000円
日本禁煙友愛会 鼎支部	地域福祉のために 36,000円
北原 タツ子	地域福祉のために 100,000円
飯田市ボランティアセンター	地域福祉のために 5,200円
ユニー株小さな善意で愛の輪運動 アビタ高森店	地域福祉のために 30,010円
三菱電機株式会社中津川製作所飯田工場	風越乳児院へ 100,000円
ユニー株小さな善意で愛の輪運動 アビタ飯田店	地域福祉のために 123,788円
飯田花卉組合	市内福祉施設へ 鉢花(シクラメン)32・花木苗(エリカ)大5・小20
大場 君江	市内在宅高齢者へ 手作りはんてん 45枚
シチズン時計マニュファクチャリング㈱飯田殿岡工場	市内福祉施設へ りんご 5kg×40箱
丸昌稲垣株式会社	市内福祉施設へ 糀味噌 48kg
三菱電機株式会社中津川製作所飯田工場	市内福祉施設へ りんご 10kg×30箱 りんごジュース 6本×30箱
株式会社おさひめコーポレーション カープス事業部	風越寮・おさひめチャイルドキャンプへ 食料品713kg
有限会社 三和観光農園	市内福祉施設へ りんご 5kg×115箱
伊賀良ボランティアグループ	地域福祉へ タオル・バスタオル・古切手・書き損じはがき
北原 すみ子	市内福祉施設へ 手作りマスク 500枚

シリーズ
その55



ちよつと いいお話

～「腸活」で免疫力を高めよう～

今年の春は新型コロナウイルス感染拡大で外出自粛が続く、運動不足になりがちだったのではないのでしょうか。
高齢者は、加齢や栄養低下により心身が衰える「フレイル（虚弱）」が心配されます。バランスのよい食事や運動などで、体力維持に努めましょう。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、腸内環境を整えて免疫力を高める食事が注目されました。腸内には免疫に関わる細胞が多くあり、その働きに腸内細菌が大きく関わっています。

腸活とは腸内環境を整えること

腸の働きは、食べ物を消化して栄養を吸収、そこで出たカスや老廃物を排出する他に、免疫機能の調整がある。

病原菌やウイルスを排除する免疫細胞の6割以上が腸内に存在。目や口・鼻・腸などから病原菌やウイルスが侵入しようとしたとき、粘膜組織が侵入を防ごうと働く。このとき、小腸で免疫細胞を助けるのが乳酸菌。乳酸菌は発酵食品から摂る。大腸の免疫をつかさどる腸内細菌のえさになるのが水溶性食物繊維で、海藻・納豆・根菜類・イモ類に含まれている。



日和見菌を増やす

ヒトの腸内には4万種類1000兆個の細菌が生息。腸内細菌には、善玉菌・悪玉菌・日和見菌がある。全体の2割しかない善玉菌だけでなく、7割を占める日和見菌を増やすことが、腸内環境を整えるためには大事。日和見菌の代表的なものは納豆菌。



善玉菌のエサ

食物繊維	もち麦、キャベツ、海藻、サトイモ、キノコ類、豆類、ミカン
発酵食品	乳酸菌を含むヨーグルト、チーズ、漬物、キムチ、みそ、納豆
オリゴ糖	ヤーコン、きな粉、てんさい糖、ゴボウ、タマネギ

悪玉菌は高糖質や高脂肪の食品で増えるが、野菜や果物を食べれば悪玉菌は劣勢になり、体にいい働きをしてくれる。

今日からできる腸活のやり方

①朝起きたらまず1杯の水を飲む
水を飲むだけで、腸が刺激され活発化される。便秘のひとつ「水分不足」も解消される。

②朝食は欠かさず食べる
お味噌汁など、野菜たっぷり具沢山の温かい汁物は「腸温活」にもなる。

③発酵食品と食物繊維を積極的に摂る

キムチやぬか漬などの漬物は、乳酸菌が豊富で整腸効果がある。ただし、キムチは胃が弱っているときは避ける。ヨーグルトは、夕食後食べることで夜間に善玉菌が働いて腸内活発化し、老廃物や有害物質を減らしてくれる。



まめのひとり言

趣味について

趣味はなんですか？と聞かれる機会が案外多いような気がする。私は趣味と呼べるほど好きなことがなく、答えに迷ってしまふ。考えすぎなのかもしれないが、私自身なにが好きなのかは正直言ってもわからない。友人にはバンドのライブへ出かけること、写真を撮ること、ゲームをすることなど、私からみて趣味だと感じられる好きなことを持っている人は多い。なぜ趣味がないと感じるのか考えてみたときに、やったことがないことをつまらないと決めつけて避けているのではないかと思った。また、友人の趣味など自分には好きにならないうと一緒に行きたくもしてこなかった。やっとなんかいいことを始めてみる。趣味はなかったのだと思う。趣味は無理に持つものではないと思うが、自分はこれが好きなんだと思えるものがないのはなんとなく寂しいような気がする。やっとなんかいいことを意識していけば、気に入ること、好きなことが見つかるような気がする。やっとなんかいいと思えば続けていけばいいし、つまらなければやめればいい。趣味に限らず、とりあえずやってみて考えたいという気持ちを持っていきたいと思う。



いらなくなったTシャツがエコバッグに!?

季節の移り変わりは昨年と同様に、そろそろ梅雨が明けて暑い夏がやって来そうです。

少し前までは、新型コロナウイルスの影響で使い捨てマスクが不足したため、使えそうな材料を探して手作りマスクを作られた方も多いのではないのでしょうか? 「意外とやってみたら作れるものだな」と感じた方もおられると思います。

今回は、手芸…と言ってよいかどうか分からないほど、とても簡単なエコバッグの作り方ををご紹介します。準備するものは、Tシャツとハサミ・定規のみです。皆さんでぜひチャレンジしてみてください!

ここに注目

- ・ Tシャツのサイズで大きさが変わります。「どんなサイズを誰が使うか」などを想像してみましょう。(子どものお使いエコバッグや、誰かにプレゼントするためのバッグなど、様々な使い道を考えてみるといいですね。)
- ・ 今回は結んでいく作業が多いですが、結ぶときの指の動きが脳に刺激を与えます。それも意識しながら指を動かしてください。

材料

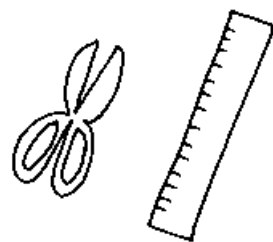
不要なTシャツ (半袖でも長袖でも利用できます)

お子さんの着られなくなったTシャツもかわいいです。プリント (絵柄) のあるTシャツがオススメです。



道具

ハサミ (できれば布が切れるもの)
定規 (ものさし)



作り方

- ① Tシャツの袖を切り落とす
ここが持ち手です。袖の縫い目を残すと強度が増えて少し丈夫になります



- ② Tシャツの首のあたりを切り落とす
ここがバッグの口になります



- ③ バッグの底を作る

- 1) 切り落としたTシャツを裏返しにし、裾(すそ)の部分、幅が2センチ、長さが5センチになるように線を引いていく
※定規を使って測ってください



- 2) 引いた線に沿ってハサミで切り込みを入れる



- 3) 切り込みを入れた部分を結んでいく (前身ごろと後ろ身ごろで結ぶ)

- ④ 表に返して完成!

* 余裕があれば、飾りボタンを縫い付けたり、刺しゅうを入れたりするなど、オリジナルのワンポイントを工夫してみてください





社協職員
による

おマメで"ショート"劇場



マメ子

作：林 篤史（地域福祉課）

第35話 マスクの下の素顔は？

はい、分かりました。

地域福祉コーディネーターとして、各地区で取り組まれている様々な地域福祉活動を応援します。

②

令和2年4月1日
飯田市社協事務所にて...

新入職員の
木下修です。
長谷部千尋です。
今日から
よろしくお願いします。

今日から社協職員の
一員として、よろしくね。
頑張ってください。

はい、承知しました。

地域住民の皆様の
支え合いの活動が広がって
いくよう、地域福祉に関する
相談や支援をしていきます。

③

①

おはよう
ございます。
今日も一日
頑張ります!!

あら、二人とも
マスクを外した
顔を見たのは
初めてだわ!!

新型コロナウイルスが収束
した未来が早く来ることを
願っています。

⑤

月日は流れ、
新型コロナウイルスが
収束した未来...

④

上司役：宮下 雅恵

新人役①：木下 修

新人役②：長谷部 千尋



読者のコーナー

皆様からお寄せいただきましたハガキ・メールの中から、
104号の感想を一部抜粋してご紹介します！

「ひと口ぼた餅」を作って、
新しい味に挑戦してみました！

松尾 70代女性

最近目の調子が悪いので、ちょっと
いいお話の記事がとても参考に
になりました。これから目をもっと
大切にしていきたいです。

上郷 20代女性

8コマ劇場は楽しく読んでいま
す。社協職員さんの顔も見えて、
私たちの生活に身近さを感じる
ものです。

伊賀良 60代女性



掲 示 板



おマメで健康教室

参加
無料申込
不要

※体操のできる服装、筆記用具、飲み物は各自でご用意ください。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況により中止になる場合もあります。

地域の皆さんの自主的な介護予防活動を応援するため、健康教室を開催しています。

日時・毎月1回：午前10時00分～11時00分（60分）

場所：飯田勤労者福祉センター・さんとぴあ飯田

お問い合わせ

飯田市社会福祉協議会 TEL 0265-53-3182

開催日程

月/日	会 場	内 容	月/日	会 場	内 容
7/8 (水)	第1.2講習室	特別講座 音楽で元気になろう	11/11 (水)	第1.2視聴覚室	嚥下について
8/3 (月)	第1.2講習室	介護予防体操	12/7 (月)	第1.2講習室	介護予防体操
9/9 (水)	第1.2講習室	指体操（手工芸）	1/13 (水)	第1.2講習室	指体操（手工芸）
10/12 (月)	第1.2講習室	介護予防体操	2/8 (月)	第1.2講習室	介護予防体操
			3/10 (水)	第1.2講習室	介護予防体操

マスクポストを設置しています！

家庭や企業等で余裕のある未使用のマスクを集めて福祉施設等で活用していただけるよう、ご寄付用のマスクポストを設置しています。1個からでも受け付けますので、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

●ポスト設置場所

飯田市社会福祉協議会事務所前
（飯田市東栄町3108-1さんとぴあ飯田2F）

●募集するマスク

不織布・サージカル・布・ウレタンが素材となっている、未開封・未使用のもの（手作りマスクも可、ただし包装または袋入りのものに限りません）

●募集期間

新型コロナウイルス感染拡大が終息するまで

●配付先 福祉関係の施設や団体、市内の学校など



飯田市フードドライブ活動のお知らせ



飯田市ボランティアセンターでは、生活にお困りの方に対する支援の一つとして、家庭等で余剰がある食糧の受け付けを行い、飯田市生活就労支援センター（まいさぼ）を通じて、必要な世帯へお渡しする活動を行っています。

●受付窓口

飯田市社会福祉協議会内 飯田市ボランティアセンター
（飯田市東栄町3108-1さんとぴあ飯田2F）

受け付けができる食糧の種類については、予め飯田市ボランティアセンター（0265-53-3182）までご相談ください。皆様のご協力をお願いいたします。



ちょっと
一息

「おマメで」クイズ？？？

社協情報「おマメで」105号の中からクイズです。答えと右記の要項を添えてぜひご応募ください。クイズに正解された方の中から抽選で5名に図書カードをお贈りします。

1、5月より飯田市ボランティアセンターで開始した新たなボランティア活動は何でしょうか？ （ヒント：1面）

＜メールでの応募方法＞
（2通りあるよ！）

- ① omamede@iidashakyo.or.jp にメール送信！
- ② 当社協のホームページから応募！
おマメでクイズに参加してね



おマメで体操
イメージキャラクター

マメ太郎 マメ子

106号の誌面にてクイズの答え・当選者の発表を行います。
※ご応募の際にいただいた個人情報はプレゼント発送以外には使用いたしません。
※匿名表現でご感想を次回号に掲載させていただく場合がございます。ご了承ください。

104号のクイズの答え

1. 「130ヶ所以上」

当選された方

・井上 哲哉 様（橋南） ・吉川 かの 様（上郷）
・新井 三千恵 様（伊賀良） ・伊藤 孝子 様（伊賀良）
・塩澤 秀子 様（竜丘）

応募要項（ハガキで応募される場合）

63	〒395-0024 飯田市東栄町三〇八 「おマメで」編集委員会 行	① クイズの答え ② 住所 ③ 氏名 ④ 年齢 ⑤ 電話番号 ⑥ 「おマメで」の感想
----	---	--

ご応募締め切り 7月末日

多くのご応募ありがとうございました！



各情報の申し込み・お問い合わせは…

飯田市社会福祉協議会

(飯田市ボランティアセンター)

電話 0265-53-3182

FAX 0265-53-3183

HP <http://www.iidashakyo.or.jp>

～各種教室・講座・事業のご案内～

ボランティアはじめて講座

ボランティアの活動紹介や体験など、内容盛りだくさんです！自分にあった活動を探してみませんか？

・日時：8月1日(土) 9:30～12:00

・場所：さんとびあ飯田

障がい者活動サポーター養成講座

障がいへの理解を深め、関わり方や支援について学びます。

・日時：8月1日(土) 13:00～15:30

・場所：さんとびあ飯田

秋頃に開催予定

傾聴ボランティア入門講座

介護予防サポーター養成講座/生活支援養成講座

詳細は、次号またはホームページでお知らせします。

第6回 障がい者文化芸術作品展〈作品募集〉

—— 11月3日～8日 開催予定 ——

作品の募集要項など詳しい情報は、社協ホームページでお知らせします。皆様の出品をお待ちしております。

モザイクタイル教室

障がいのある方を対象に、趣味教室を開催します。

お好きな色や形のタイルを組み合わせ、オリジナルの鍋敷きを作りましょう！

・日時：9月12日(土) 13:30～15:00

・場所：飯田勤労者福祉センター

・定員：10名程度

・参加費：500円

・持ち物：エプロン

※完成イメージ



「まめボラ」活動のお知らせ

～ベルマーク仕分けボランティア～

7月31日(金) 時間：13:30～16:30

8月28日(金) 場所：さんとびあ飯田

9月25日(金) 2階 社会適応訓練室

★ベルマークの回収箱は、社協、自治振興センター等に設置してあります。



※状況により、日程・内容が変更になる場合があります。お申込みの際は、お問い合わせください。

キッチンペーパーの手作りマスクを寄贈していただきました

新型コロナウイルス感染拡大により、既製品の使い捨てマスクが入手困難だった春先頃、上郷にお住まいの北原すみ子さんより、キッチンペーパーを使った手作りマスクを飯田市社会福祉協議会善意銀行へご寄贈いただきました。北原さんは2月頃から一人でコツコツと作りはじめ、3月に1回、4月に3回、5月に3回、6月に1回、合計8回にわたり、合計4,000枚をお持ちくださいました。このマスクは市内の福祉施設や有償移送サービス・配食サービスのボランティアさんにお渡しし、活用させていただいています。



有償移送サービスの運転ボランティアさん

北原さんは、「病院関係でマスクが不足していることはテレビなどで報道されていましたが、福祉施設などで介護の仕事に携わっている方々のことはあまり触られていませんでした。介護をする職員の皆さんが新型コロナに感染してしまったら、利用者の皆さんが困ってしまう。他人事ではないと思い作り始めました。」と話されました。新型コロナウイルスの影響で、しばらくはマスクが必要になりそうです。北原さんのお心遣いから、お互いに支え合う気持ちの尊さを感じました。

